

昭和40年度総会ならびに春季大会告示

1. 期 日 5月11日(火), 12日(水), 13日(木)
2. 場 所 大阪府厚生年金会館(大阪市東区森之宮西ノ町)および大阪市教員会館(大阪市東区法円坂町)

3. 総会提出の議題募集

- 1) 締切: 3月6日(土)
- 2) 宛名: 東京都千代田区大手町気象庁内日本気象学会 封筒の表に「総会関係」と明記のこと。
- 3) 内容: 議題名とともに必ず提案理由をつけること。

4. 研究発表募集

- 1) 講演申込締切: 3月6日(土) 必着
- 2) 申込先: 東京都千代田区大手町 気象庁予報部電計室気付 岸保勘三郎
または 東京都文京区大塚 東京教育大学理学部 吉野正敏
- 3) 様式: 必ず所定の用紙に記入すること(天気本号挿入), 用紙不足の場合は事務局または支部に請求されたい。
- 4) 講演時間: 討論を含めて15分以内

5. 予稿集刊行について

前回と同じ要領で予稿集を刊行します。予稿には必ず研究結果を記載すること。原則として、予稿を提出しないものは講演できないことにしますから、講演申込者は必ず提出願います。なお講演申込者には予稿用紙を送りますから、送付先を明記して下さい。

予稿提出先: 気象庁観測部測器課 竹内清秀

期限: 4月3日(土) 必着(以後に到着した場合は予稿集に掲載できませんから、郵送に要する時日を考慮して早目に投稿して下さい)。

6. 宿舍予約について

大会中、宿泊希望の方は直接下記へ早目に申込んで下さい。

記

◎大阪共済会館(大阪市東区法円坂町——大会場の向側)

宿泊料は1泊朝食付900~600円程度、個室の場合は200円程度増額されます。申込の際は予約金1泊につき200円を添え、和・洋・個室の別を明記されたい。

◎非現業共済組合大阪宿泊所「谷町荘」(大阪市東区粉川町——大会場へは徒歩15分)

宿泊料は1泊2食付650円程度、予約金1泊につき200円を添えて申込むこと。

プログラムおよび会場案内図、懇親会等の詳細については、「天気」3月号に掲載します。

月例会のお知らせ

シンポジウム「乱流輸送」

会期 2月11日(木) 10時~17時 会場 気象庁講堂

司会 井上栄一(農技研)

話題提供者

1. 藤田敏夫(気象研): 海面における水蒸気および熱の収支
2. 光田 寧(京大): 超音波風速計を用いた乱流輸送の観測について
3. 内島善兵衛(農技研): 耕地における乱流輸送
4. 伊藤昭三(気象庁): 地面粗度の変化による乱流輸送の変化
5. 島貫 陸(東北大): 拡散係数の理論における二、三の問題
6. 川野 実(名大): 空中電気から見た乱流輸送の問題
7. 曲田光夫(気象研): 海陸風の計算における乱流輸送について
8. 片山 昭(気象研): Large-scale における乱流輸送の問題

本シンポジウムは乱流輸送の問題を種々の観点から総合的に検討しようとする試みであります。幸にして全国各地の研究者の話題提供が予定されていますので、参加者の協力によって有意義なシンポジウムにしたいと思います。(講演企画委員会)

主題: レーダー気象 会場: 気象庁第1会議室

会期: 2月17日(水) 13時~17時

(レーダー気象に関する月例会の研究発表題目と要旨は本文30頁~31頁を参照のこと)

主題: 長期予報 会場: 気象庁予報部会議室

会期: 2月25日(木) 9時30分より

講演題目

1. 須田滝夫(気象大学校): 気候の長周期変動について(25分)
2. 高橋浩一郎(気象研): 気候変動における海の熱容量の影響(分20)
3. 杉本 豊(東航): 65年冬期の成層圏循環について(30分)

春季講演会

会期: 3月26日(金) 会場: 気象庁内

12月号に予告したとおり、「台風」「豪雨」「豪雪」「気候」「水気象(降雨と流出)」「観測と測器」の各グループの合同による春季講演会を行ないません。当日は上記グループ以外の一般研究発表も併せて行ないません。春季講演会は春季および秋季大会を補足するものですから、盛大に行ないたいと思います。(講演企画委員会)

(講演企画委員会)